

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第1回さがみはら地域づくり大学運営委員会				
事務局 (担当課)	市民協働推進課 電話042-769-9225(直通)				
開催日時	令和5年12月22日(金) 午前10時~11時20分				
開催場所	WEB開催(相模原市役所 第1別館1階 開発室)				
出席者	委員	4名(別紙のとおり)			
	その他	1名(指定管理者)			
	事務局	4名(市民協働推進課長、他3人)			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由					
会議次第	<p style="text-align: center;">議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度の運営状況について(報告) 2 令和6年度の講座内容等について 3 その他 				

主な内容は次のとおり。

議 題

1 令和5年度の運営状況について（報告）

指定管理者及び事務局より資料に基づき説明と報告を行った。

【主な意見等】

(指定管理者)

- ・12月16日をもって、令和5年度の修了式を終えた。
今年度は昨年度より受講生が増え、全体で56名が受講した。
- ・今年度より、ユニコムプラザの職員4名が運営に参加したことで、受講生とのリレーション強化が図れたと感じている。
- ・講師も慣れてきており、親身な対応が受講生の満足度に繋がっていると感じている。来年も是非登壇したいとの意見を多く頂くなど、講師にも主体的に関わって頂けた1年だったと実感している。
- ・若年層の受講が増え、18歳から74歳まで幅広く受講していた。
修了生の活動にも活気が出てきており、修了生同士の連携した活動が増え、進展を感じている。
- ・受講のきっかけでは、全体の4人に1人が受講生からの紹介もしくはリピーターであり、講座自体の満足度が高まっていると取れる、いい傾向だと感じている。
- ・講師1名が講座の直前に逝去したことから1講座を中止し、返金対応した。

(水澤副委員長)

- ・受講者が増えており、担当者の努力が実っていると感じる。
- ・現在進んでいる市民活動団体の高齢化に対して、若年層の受講生が何か主体的に関わってくれるのではないかと期待している。
- ・プログラムに関しては、多様なプログラムを組んでいて座学以外にも様々な選択肢があり、色々な体験を提供することで受講しやすくなっていると感じた。
- ・以前は相模原のことを知りたいという高齢の方々が多い講座だという印象を受けていた。しかし最近は若年層が地域の課題を解決したいという思いでの受講が増えており、受講生の意識も変わっていると感じた。

(竹田委員)

- ・市長による講義は柱になると思うので、来年は実施できるよう行政からも是非お願いして頂きたい。
- ・講座を変更して良かった点や、なお一層改善しなければならない点、受講生の声などは都度共有して頂きたい。

(榎本委員)

- ・若年層が多く受講したことについて、どのようにこの講座を知り、受講したかを分析し、今後の周知に活かしてほしい。
- ・市職員による講座について、受講生の感触を伺いたい。受講生の興味を引ける内容が話せているかどうか気になっている。

(事務局)

- ・緑区の市職員が藤野地区の見学講座に随行し、バスが渋滞に巻き込まれたものの、バスガイドのように道中の各ポイントの案内を行い、車中を盛り上げた。
- ・一方で座学講座では、各職員の担当業務以外の分野については原稿を読むだけに近い状況もあり、課題意識を持っている。

(中邨委員長)

- ・今年度も受講者が増加したことは、ユニコムプラザが熱心に周知した結果だと考えている。今後も若年層に積極的に周知して頂きたい。大変希望の持てる事業だと実感している。

議 題**2 令和6年度の講座内容等について**

令和6年度の講座内容案について報告及び検討を行った。

【主な意見等】**(指定管理者)**

- ・来年度について、今年度の構成から大きく変える予定ではないが、昨年同様に受講生の声をしっかりと拾い、プログラムに反映させていきたい。
- ・市職員の講座にて、7月から8月は座学講座が続くことについては、受講生からも様々な形態の講座を受けたいとの意見があることから、受講生同士で話せる場を作るなど少しずつ改善していきたい。
- ・修了生に対してのフォローが少ないことが非常に大きな課題だと感じており、2月から3月はフォロー期間にしたいと考えている。
- ・昨年度からコーディネーターズサークルとは別に同期で集まる機会を作り、交流を続けることで新たな活動にも繋がっている。
- ・修了生のコーディネーターズサークルについても、修了生自身が主体的に関わり自立して運営していけるような集まりにしていく。
- ・1年を振り返り、受講生にも講師にも喜んでいただける講座になったと自負している。スタッフも非常に楽しめる講座になり、さらに来年度に向け磨きをかけていきたいので、是非様々なアイデアを頂きたい。

(中邨委員長)

- ・これまでにない新しい発想が多く聞けて良かった。修了生へのサポートや同期生の集まりなど、斬新なアイデアだと思う。

(竹田委員)

- ・受講生の意見を聞いて反映させることで、自身の意見も形にしてもらえということが伝わるように周知していくことが大切である。
- ・見学講座は緑区に限らず、様々な候補を出して受講生同士で話し合うのも、様々な考えの方がいると思うので良いのではないか。

(水澤副委員長)

- ・講座数が多い点が気になる。受講生を募るために楽しい講座を企画していくことも大事だが、目標を見失わないようにしてほしい。
- ・子育て、ひきこもりやいじめなど重いテーマについても取り組み、意見交換できるような場があると良い。

(指定管理者)

- ・これまでの経過にあまり固執せずに、新しいものを取り入れていきたい。
- ・修了生の活動も活発になっているので、講師として登壇頂き、交流できる機会を作っていきたい。
- ・講座ごとに講師が代わる度に、受講生に自己紹介を求めるなどは改善していきたい。

(榎本委員)

- ・講師の再精査ができると良い。修了生にも関連テーマに登壇いただくなども良いと思う。
- ・修了生のフォローとして、同期会同士の交流なども行えるとより良いのではないか。

(中邨委員長)

- ・今年の2～3月に、ベトナムの公務員の方々を相模原市に招待する計画がある。是非、地域づくり大学の修了生も国際交流として関わってみてはどうか。

(指定管理者)

- ・修了生の中でも、米軍基地に行って折り染め体験を行うなど、国際交流について興味を持って取り組んでいる者もいる。国際交流の機会があれば、是非お願いしたい。

(榎本委員)

- ・所管している市民局も国際交流が活発な部署で、現在もカナダの方が相模原市で学ぶために職員として所属している。そのような方々に海外について話して頂く機会を設けるのも良いと思う。

議 題

3 その他

次回は2月を目途に第2回運営委員会を開催予定である旨説明した。

閉 会

以 上

さがみはら地域づくり大学運営委員会委員名簿

(令和5年12月22日開催)

	氏名	現職	備考	出欠
1	中邨 章	日本協働政策学会 名誉理事長 (地域づくり大学の学長)	委員長	出席
2	竹田 幹夫	相模原市自治会連合会 会長 (本市における地域活動団体及び市民活動団体の関係者)		出席
3	水澤 弘子	特定非営利活動法人さがみはら市民会議 理事 (本市における地域活動団体及び市民活動団体の関係者)	副委員長	出席
4	齊藤 ゆか	神奈川大学 教授 (講座の各分野における関係者)		欠席
5	榎本 好二	市民局長 (市職員)		出席